<u> </u>
Ξ
雜
件
2
$\sim$
六九八

## 事項一 egenera Datasa 雑

件

- ----**墺洪国軍艦「カイゼリン、エリザベット** Ļ\_\_\_\_ 号一件
- $\overline{\phantom{a}}$ 独国駆逐艇「エス」九十号捕獲一件
- Ξ 日本軍艦葫蘆島寄港一件
- Л 独国ノ西比利亜鉄道破壊陰謀一 件
- Ŧī. .独国軍艦「ガイエル」一件

**墺洪国軍艦「カイゼリン、** エリザベット」号一件

ヤ

六九八 八月二十四日 在本邦墺洪国大使会談加藤外務大臣

壊洪国大使ヨリ<br />
壊洪国軍艦ノ保護ニ付日本政府 ノ配慮方依頼ノ件

写ヲ手交シ勿論右ハ自分ニ於テ取次クニ過キスト述ヘラレ 絶エ困却シ居ル 所ナリトテ 右伝達ヲ 謝シ何レ 此電報ニ基 タルニ
境国大使ハ 一読ノ上実ハ久シキ間本国政府トノ往復 以テ転達方申越シタル
墺国政府ヨリ在本邦
墺国大使宛訓令 大正三年八月二十四日墺国大使来訪大臣、先方ノ来意ヲ ク前先ツ在墺国大使ヨリ電報(在伊大使来電第六三号)ヲ キ公文ヲ以テ御照会ニ及フヘキカ如此御取計ハ出来得ヘキ 脑

自 テ退去ニ付テハ何等断絶タルコトヲ述ヘスシテ退出セリ ダ ル次第ナレトモ不取敢此電訓ニ基ク御照会ヲ致スヘシト 分及館員一同退去スル方可然ト思ヒ之ヲ通告ノ為ニ来リ

誈 在伊国林大使来電第六三号ハ次掲六九九文書ト同趣旨 二付省略

六九九 八月二十四日

青島ニ於ケル墺洪国巡洋艦カイゼリン、 ベット号ノ上海ヘノ航行ニ付日本官憲ノ保障方 エリザ

依頼ノ件

No.

加藤外務大臣宛 ŋ

七 0 0 墺洪国ガ日本ニ宣戦シタル旨ノ新聞記事否定方 八月二十六日 松井外務次官宛

ニ関スル件

Wednesday, August 26, 1914.

give a telegram from San

(Signé)

Veuillez agréer, etc., etc., etc.

passage libre de

dit

Croiseur

de

Tsingtao

<u>م</u>

Shanghai.

cas, faire les démarches nécessaires pour assurer le ment Impérial et Royal et de bien vouloir, dans ce ment Impérial adhère à cette demande du Gouvernecellence de bien vouloir obtenir que le

Gouverne-

J'ai par conséquent l'honneur de prier Votre Ex-

durée du conflit japonais-allemand.

de rester dans ce port, à l'état désarmé, pendant la

見テ他方ニ自分共カ東京ニ留マルコトハ面白カラサルニ付 テ英国ト協力セラルル上ハ一方ニ自国軍艦ノ攻メラルルヲ 分ノ御配慮ヲ 願ヒタシ 実ハ 本日来訪シタルハ 愈日本ニ於 英国海軍ノ行動ニ迄関スルコトヲ帝国政府ニ於テ保障スヘ 関スル限リ別段差支ナカルヘシト思考スルモ何分日本ハ英 モ不能ニハ非サルヘシト述ヘラレタルニ墺国大使ハ何分十 キ限リニモ非ス尤モ時宜ニ依リ英国政府ト打合ヲナスコト 国ト行動ヲ共ニスルコトナレハ現ニ貴国ト交戦状態ニ在ル 打合ノ上御確答ニ及フヘキカ自分限リノ考トシテハ日本 ノ地位ニ在ル者ナレハ公文御照会ニ接シ次第海軍当局ト ト述へタルニ付大臣ハ自分ハ只今モ申ス如ク全然取次者 モ

七〇六

Francisco to the effect that As my endeavours to Austria-Hungary

has

declared war on Japan!

l see several papers

que "Kaiserin

Elisabeth"

puisse arriver, sous la

Japonaises

et

seau de Sa Majesté Impériale et Royale Apostoli-

Gouvernement Impérial japonais à ce que le Vais-

sans aucune entrave, au port neutre de Shanghai et

Ē

雑

件

3

六九九

400

garantie des Autorités Impériales

me charger d'obtenir aussitôt le consentement du

Japon et l'Allemagne, mon Gouvernement vient de

Vu la possibilité qu'une

Tokio, le 24 Août 1914.

guerre éclate

entre

le

七0七

be very much obliged to the Imperial Foreign Office contradict the news seem to have failed, I should

タルニ羅ハ之ヲ快諾シ兎モ角発電拘留セシメ処分方北京	
ニ濰県竝ニ高密ニ電報ヲ発シ不取敢彼等ヲ取押方注意シ	
ヲ瞞著シテ故意ニ支那ノ中立ヲ破壊スルモノナルニ付直	官憲へ命シ厳重監視セシムルコトトスヘシト云ヘリ
ス」ノ水兵ナルヤモ知レス果シテ然ラハ彼等ハ支那官憲	第モアルコトナレハ懸念ニ及ハストハ信スルモ尚為念直隷
戦闘ニ 参加セストノ下ニ 当地ヲ 通過シタル 「エリザベ	諭ノコトナリト言明セ
ハ之ヲ羅交渉員ニ訊シタルニ彼等ハ過日武装ヲ撤シ今後	サ
モ既ニ発	タキ旨外交部へ申出アリタルニ付外交部ハ一旦引揚ケタル
Ξ	タル際在北京墺国公使ヨリ途中故障ノ生セサル様取計ハレ
発シ直ニ	入レタルニ 曹ハ 蟲ニ 墺国兵膠州湾ヲ 引揚クルコトトナリ
八月二十九日午後八時天津ヨリ墺国水兵ラシキモノ私服	貴電第三八九号ニ関シ八月三十日曹外交次長来訪ノ序ニ申
送リタル所八月三十日森岡ヨリ左ノ通電報アリ	ノ件
タルニ付直ニ森岡ニ打電シ事	咸重監視方曹
クヤ	<b>七〇三</b> 八月三十日 加藤外務大臣宛
午前五時及午前十時当地発汽車ニテ済南ニ向ヒタル旨支那	
注意シ居リタル所八月二十九日彼等ノ内約五十人平服ニテ	(außre)
過日青島ヨリ当地ニ来リタル墺国水兵ノ行動ニ関シテ特ニ	Veuillez agréer, etc., etc.
第一三一号	en question.
墺国水兵ノ動静ニ関スル情報報告ノ件	du 24 août ct., No: 653, au sujet du désarmement du
+℃四 ア 月 三 十 日 加藤外務大臣宛	il qu'Elle a bien voulu faire à ma
て ヨ ミトヨ 在天津松平総	l'honneur de remercier Votre Excellence de l'aim-
าาซ ศักธรภาคาม ธาชานา โกชา คาการอกิกอากา นออกเกอ่า โ ชา	
tao sans armes pour Tientsin.	
seur a désarmé e	
stre d'Autriche-Hongrie à Pékin d'après lequel le	ネテ
Or, je viens de recevoir un télégramme du Mini-	右貴国政府ノ御請求ハ帝国政府ニ於テ篤ト考量ヲ加ヘタル
tés entre le Japon et l'Allemagne.	ヲ以テ御来示ノ趣致敬承候
é, pendant la durée des ho	ニ依リ帝国政府ノ許諾ヲ求メラルル旨本月二十四日附貴翰
Impériales japonaises et sans aucune entrave, et v	除シタル上日独交戦中ハ同地ニ碇泊スル為貴国政府ノ訓令
à Shanchai ann conntia dan	ニ何等ノ障害ヲ受ケスシテ上海ニ赴キ同地ニ於テ武装ヲ解
e que le navire de guerre au	国軍艦カイゼリン、エリザベット号カ帝国官憲ノ保証ノ下
d'obtenir le consentement du Gouvernement Im-	以書翰致啓上候陳者今回日独開戦ニ付目下青島碇泊中ノ貴
ue j'avais adressée à Votre Exc	公信政送第六二号
nt Impérial soumettrait à mûre réfle	ベット号ニ関スル件
youre excentence en date d'adjourd fidt, couee oz, nar lamielle Fille a bien vonlin me faire savoir mie le	青島碇泊中 ノ 墺洪国軍艦 カイゼリン、 エリザ
d'accuser réception de la note	· -†
•	いりここ いり 加藤外務大臣 ヨ
Tokio, le 26 août, 1914.	****************************
発ニ付通報ノ件	Yours sincerely,
墺洪国軍艦エリザベット号乗組員ノ天津向ケ出	Many thanks beforehand.
七〇二 八月二十六日 加藤外務大臣宛	for kindly letting the press know how absurd the news is.
七〇八	三 雑 件 (一) 七〇一 七〇二

七〇九

1 11 雑

倂

四04 三04 (1)

	トニョミョオコキト务とミョリ
	<ol> <li>大正四年十二月三日付石井外務大臣ョッ在</li> </ol>
水兵ノ行動ハ	<b>、東国女会等入二テ</b>
墺国水兵ノ行動ハ其事実ノミ突止方訓令ノ件	米国珍田大使宛政送第八二号
	何気政党第八二号
第四二号	日墺開戦ニ関スル米国ノ中立宣言ニ付取調
第四二号	関スル米国ノ中立宣言=付取
三二号ニ関シヱリザベス乗組員	ノ 件
	三 大正四年十二月三十一日付在米国珍田大使
還セシメサル様八月三十日在支公使ヨリ支那当局へ申入レ	ヨリロ冉卜务大臣祖公第三九二号
ニシノモノ栫	ヨリ石井外務大臣宛公第三九二号
タルニ曹汝霖ハ嚢ニ墺国兵膠州湾引揚ノ際在支墺国公使ヨ	同右件
2、122条之影:北国之朋少彩号将一圈才已北国之子	1
リ途中故障ナキ様取計方外交部へ中出タルニ付外交部へ一	政送第二六七号
旦引揚タル塡国兵ハ再ヒ膠州湾へ帰還ヲ許ササル旨答ヘタ	帝国ト墺洪国トノ外交関係断絶シタル当時八代海軍大臣ハ
ニャヨンボンロオートデリンシーナ系によっと、	、言文ノ司国前沿ニテノレニ虫も国第沿
ルニ墺国公使ハ右ハ勿論ナリト言明セルニ付懸念ニ及ハス	<b>埃洪国ヲ交戦国ト看做シ同国商船ニ与フルニ独逸国商船ニ</b>
対スルト同一ノ恩恵期問ヲ以テセムト欲シ本年八月勅令第 (	外交関係ヲ新絶セシムル以外ニ両国ヲ戦争状態ニ置カ
百六十三号準用ノ勅令案ヲ起草シ本大臣ニ於テモ之ニ同意	ムトスルノ意思ヲ表示スヘキ文字存在スルコトナク又
セルカ該勅令案ハ実施セラルルニ至ラス然ルニ其後墺洪国	九月五日加藤大臣ヵ 臨時議会ニ 於テ 為シタル 演説モ
軍艦「カイゼリン、エリザベット」及其乗組員ハ独逸兵ト	(別紙第五号)両国交戦状態 ノ 存在ヲ予想スルコトナ
はニ   青島ノ   坊   熙二   七ン   帝国   軍ニ   元   敏   セル   ヲ   以   テ   帝国   ト   奥   共	<b>シ</b> ・
ニ 章語 、 图 須 ニ 亻 ミ 孕 目 筐 ニ 井 商 ニ ノ ミ 具 デヴ	
国トノ間ニハ既ニ事実上戦争状態存在シ居ルモノト思考セ	1 日场西国国交盼新当时八代海军大臣,场国ラ交戦国
ラルルニ就テハ之カ戎立ノ寺切ヲ夬定スルハ暫ク置キ比事	ト看做シ同国商船ニ与フルニ独国商船ニ対スルト同一
ノニ亰サイズン房工、甲其三沙欠ンノイ聖、恒ニ山	
実上ノ状態ヲ認メテ両国間ノ通商条約ハ既ニ消滅ニ帰シター	ノ恩恵期間ヲ以テセント欲シ大正三年八月斏令第百六
	/ 功子戻り 己生/ 卜务へ三文 可务へ三/
ルモノト看做シ其他此状態ヲ基礎トシテ日墺国際関係ヲ万	十三号準圧ノ東全家ヲ起草シ外務大臣及内務大臣ノ同
	意ヲ 経タルモ内閣ハ 日墺両国間ニハ 未タ 戦争状態成
<b>当</b> 処理 フ パラ 至当 上 語 고	
右至急閣議決定ヲ請フ	立シ居ラストノ意見ニテ該勅令案ハ公布セラルルニ至
	ラキリキ
(附記I)	臼 憲法第十三条天皇ハ戦ヲ宜シ云々ノ規定ハ仮令正式
1.没可国,已已同	
日境両国ノ現在関係	ノ宣戦詔勅ヲ発布セサル場合ニモ何等カノ形式ニ依リ
第一、日墺両国へ戦争状態ニ在ラスト主張シ得へキ論拠へ	テ帝国カ一国ト戦争伏態ニ在リトスル天皇ノ意思ヲ国
一一寸下目、道子浴方、石、豆、石、三副お	ン一目、単子壮介、石中、ノノノ具
大凡左ノ如シ	民ニ知ラシムルノ手段ヲ執ルヲ必要トスルノ趣意ナル
奥国汝守ヨノ王隹内左秦大吏ニ為ノタレ重柴文印	クロンテ見主ニをレ乞坊ノロ
	~ ク 吖 シ ラ 理 右 ニ 至 ハ 送 其 レ 如 キ 手 母 ハ 未 夕 嘗 ラ 幸 ラ
外務大臣ヨリ同大使ニ与ヘタル訓令並本邦駐劄墺国大	レサルヲ以テ国民ハ帝国カ墺国ト戦争状態ニ在リト思
ニ為ンタレ..一葉文とニオスレ	監及大兵力荢哥ノ方雲ニ念用ノメ
<b>復</b> ス帝国政府ニ 然シ ダ ハ 迎 牌 及 之 ニ 茨 <i>ア</i> ハ 力 腐 大臣 ノ	オシ屈ラス地国軍艦及孙兵大青島ノ队奪ニ参加シタル
回答(別紙第一号乃至第四号)ニハ孰レモ日墺両国ノ	ハ其任意ニ出テタル義勇団ノ行為ト看做スヘク墺国政
	七一一

Ē 雑 件  $\exists$ 七〇六

ノ戦意ハ之ニ依リテ決定セラルヘキモノニ非ス

第二、日墺両国ハ戦争状態ニ在リト主張シ得ヘキ論拠 凡左ノ如 2 い大

 $(\rightarrow)$ 在リタル 総ヘテ同時ニ撤退スル旨ヲ附記シ又帝国政府カ在墺各 大使ノ通牒カ公使引揚ノ普通ノ例ニ依ラス領事館ヲモ 国ハ墺国ノ同盟国タル独逸ト交戦状態ニ入リタルカ故 府ノ意思ハ右ノ通牒ニ依リテ帝国ト戦争状態ニ入ルニ 名誉領事ヲ解任スヘキ旨ヲ佐藤大使ニ訓令シタルハ即 Ξ スルト 其理由ヲ 異ニスルヲ 明示シタル モノニシテ帝 貫徹スルカ為メニ威嚇手段トシテ其代表者ニ引揚ヲ命 使通牒カ 別紙第六号ノ記事ヲ維納ニ通信セルニ徴スルニ墺国政 リタル日、 チ之カ為メナリ況ンヤ墺国政府カ佐藤大使ニ通牒ヲ送 ルニ均シク一種ノ宣戦通告ト見ルヲ得ヘシ在本邦墺国 絶スト記載シタルハ一国カ他国ニ対シテ或種ノ要求ヲ 政府ノ執リタル態度ニ鑑ミ」日墺両国ノ外交関係ヲ断 墺国ハ同盟ノ誼トシテ之ヲ傍観スルヲ得スト云ヒタ 佐藤大使宛墺国政府通牒及加藤大臣宛在本邦墺国 「墺国政府ハ其同盟国タル独逸ニ対シ日本 モノニシテ米国政府カ八月二十七日日 独逸政府ノ御用通信社タル「ウォルフ」ハ 「墺戦争 国 天

タル 表明スルヲ 避ケテ 事実上交戦関係ニ 入リタルニ カ ŀ (別紙第九号参照) 如ク国交断絶ノ意義ヲ解釈シ事実上交戦関係ニ入リ ナキニ付帝国ハ唯墺国ノ挑発ニ答へ墺国ノ解釈ス ノミ恰モ白耳義カ墺国ノ挑戦ニ応シツツ其意思ヲ 同 . シ N

(三) 断絶シタルニ 過キスト 解釈スルニ 於テハ 両国ノ通商 以上少クモ日墺両国ハ戦争状態ニ在ルモノト云ハサル 墺国ノ軍隊トシテ本国政府ノ訓令ニ依リ行動シ居ル 実ヲ強ユルモノニシテ彼等ハ命令ニ従ヒテ青島ヲ退去 此帰還ヲ其自由意思ニ出テタルモノトスルハ故意ニ事 青島ニ引返シ独逸兵ト共ニ其防禦ニ任シタリ乗組員ノ 之ヲ廃棄スルノ利益甚タ多カラサルカ如キモ若シ帝国 条約ハ其儘存続スヘク該条約ハ税率ノ協定ナキカ故 可ラス若シ此事実ヲ無視シ飽迄日墺両国ハ単ニ国交ヲ シ又命令ニ基キテ此地ニ帰還シタルモノナレ リ然ルニ後ニ至リテ其武装ヲ復シ乗組員ノ一部ハ再 於テ武装ヲ 解キ 其乗組員ハ天津ニ向ヒテ 青島ヲ 去 カ条約ノ消滅ヲ利用シテ独逸人ノ享有スル永代借地権 墺国軍艦「カイゼリン、 ニシテ彼等カ青島ノ防禦ニ参加シ帝国軍ニ敵対セル エリザベット」ハ膠州 ハ彼等 湾 モ  $\overline{\nu}$ = ゝ Ł -

> ト一致スルモノナリ ニ関シテ局外中立ヲ宣言セ ル ハ (別紙第七号) 七一二 此 解 釈

(二) ノナリ、 サ 在留民ノ数亦タ多カラス墺国ノ商船ハ欧洲大戦争ノ 記訓令ノ意義ハ之ヲ了解スルコト能ハサルニ至ラン故 他ノ無条約国ニ対スル関係以上ニ百ラサルヘキニ付前 戦争開始ト看做シタル結果タラスンハアラス若シ然ラ 三日同省訓令第十一号ヲ準用シタルハ国交断絶ヲ以テ カ故ニ墺国ヨリ公然帝国ニ対シテ宣戦ヲ布告スルニ非 く 始後極東航路ヲ 停止シ 其軍艦ハ 老齢ナル 「カイゼリ 国政府ハ之ニ依リテ其意思ヲ国民ニ周知セシメタル フハ間接ニ戦争状態ノ存在ヲ表示シタルモノニシテ帝 ニ該訓令ニ日墺両国間ノ「国交断絶シタルニ付」ト云 ニ其効力ニ影響アリトスルモ帝国ト墺国トノ関係ハ其 スシテ日墺両国ハ単ニ外交関係ノミヲ断絶シタルモノ 八号)カ帝国ニ在留スル墺国臣民ノ取扱ニ付同月二十 ト解釈センカ 通商条約ハ 依然トシテ 存続スヘク 仮リ 大正三年八月二十九日内務省訓令第十四号 レハ帝国カ進ンテ宣戦ヲ為スノ実益毫モ存在スル エリザベット」膠州湾内ニ遁入シ居ルニ過キサル 帝国ト墺国トノ通商ハ其関係極メテ薄ク両国 · )別 紙第  $\exists$ 開 モ

能 軍艦カ墺国商船ニ遭遇スルモ之ヲ敵船ト 国関係ノ根本観念其当ヲ得サルニ基クモノナ ルカ如キ結果ヲ生シ頗ル面白カラス斯ノ如キハ畢竟両 ヲ処分セントスル場合ニ墺国人ニ対シテ之ヲ為ス ハサルノ結果トナリ甚タ妥当ナラサルト同時ニ帝国 能ハス墺国人ノ貨物ハ中立貨物ト看做ササル シテ取扱フコ IJ 可ラサ Э ŀ

第三、結

節末段ニ記載スル通ナルカ故ニ帝国ハ墺国ト戦争状態ニ 断絶ニ過キサルモノト看做スニ依リテ生スル不都合ハ前 釈一定シ居ラサルカ如シ然レトモ両国ノ関係ヲ単ニ 入リタルモノト了解シ居ラサリシハ事実ニシテ今尚ホ解 日墺両国国交断絶ノ当時帝国政府カ之ヲ以テ戦争状態 国交 Ξ

雜 倂 3 七〇六

\_

Ξ

七一三

状態ノ存在ヲ弁明スル 墺洪国カ東洋ニ於テ有スル利害ノ関係ハ極メテ尠ナ カ故ニ帝国ハ同国ニ対シテ成ルヘク平和関係ヲ持続ス ルヲ欲シ墺洪国亦帝国トノ葛藤ヲ避クルノ意ヲ有シタ ノ外ナカルヘシト思考セラ ル キ

旨ヲ以テスル外務大臣ノ議会演説ニ依リテ日墺両国戦争 自ラ自己ヲ欺クノ嫌アリテ面白カラス故ニ政府ハ左ノ趣 在リトノ主義ヲ採ルヲ得策トスヘク其時期ニ至リテハ国

交断絶ト同時ト

ナスヲ最モ妥当トスルモ斯ノ如キ

ハ政府

Ξ 雜 件 (二) 七O六

右ノ声明終リタルトキハ帝国政府ハ其全文ヲ帝国ニ駐劄 スル各中立国ノ代表者ニ送付シ中立国ヲシテ其利益ノ為 メニ日墺両国間ニ存在スル戦争状態ノ不知ヲ主張スルヲ 其意ニ反シテ墺洪国ト交戦セサル可ラサルニ至リタリ 津ニ退去シタル墺国水兵ノ一部ハ其後再ヒ青島ニ帰還 リシノミナラス又斯ノ如ク了解スルヲ欲セサリシカ天 断絶ヲ以テ交戦関係ノ開始ヲ意味スルモノト了解セサ 墺国大使ハ該軍艦カ既ニ武装ヲ解除シ其乗組員ハ武装 既ニ臨時議会ニ於テ述ヘタル如クナルカ同月二十六日 クスルコトアルヘキ其ノ東洋ニ於ケル唯一ノ軍艦「カ 在本邦墺国大使ハ本大臣ニ対シ日墺間ニ交戦ヲ余儀ナ 通知ニ接シタル当時ニ在リテ帝国政府ハ此外交関係 シタル様ノ次第ニ付其翌二十七日墺国大使ヨリ引揚ノ テ其武装ヲ 解除セシ ムルコトト シタキニ 付帝国政府 イ N ベット」ハ帝国軍ニ対シテ砲火ヲ開キタルニ付帝国ハ シ独逸兵ト セスシテ青島ヲ退去シ天津ニ向ヒタル旨本大臣ニ通知 ニ於テ之ニ同意シ斡旋アリタキ旨ヲ申入レタル顚末ハ ゼリン、エリザベット」ヲ上海ニ赴カシメ同地ニ於 モノノ如ク日独両国戦争状態ニ入ルヤ八月二十四日 共ニ 其防禦ニ任シ 「カイゼリン、 エリザ 1

別紙第二号

佐藤大使へ左ノ通転電アレ 在伊 大使 加 藤 大 臣

請求スル旨ヲ申出タリ就テハ貴官ハ直ニ旅券ノ交付ヲ塽 各帝国名誉領事ニ対シ解任ノ旨並御委任状ヲ返納シ ヘク(中略)維納、「トリエスト」、 国政府ニ要求シ館員一同ヲ率ヒ羅馬ニ引揚ケ命ヲ待タル ニ対スル帝国ノ行動ニ顧ミ本国政府ノ訓令ニ基キ旅券ヲ 八月二十七日在本邦墺国大使ハ墺国ノ同盟国タル独逸国

略)スヘキ旨通知セラルヘシ 「ブダペスト」 駐在 一中

(在本邦墺洪国大使ヨリ加藤外務大臣宛通牒)

別紙第五号

別紙第三号

Monsieur le Ministre, Tokio, le 27 Août 1914

墺洪国ニ対シテハ同国ハ東洋ニ於テ其利害関係極メテ尠ナ

大正三年九月五日加藤外務大臣議会演説ノ一節

No. 651.

Japon hongrois établis dans l'Empire. bassade Impériale et Royale et des Consulats austroment de quitter le Japon avec le personnel de l'Am-Hongrie, je viens d'être chargé par mon Gouverne-En considération de contre l'Allemagne, l'action entreprise par le alliée de l'Autriche-

Ξ

雑

件

(1) <del>1</del>05

得サラシムルヲ期スヘシ 条約第二条参照) (別紙第十号開戦ニ関スル海牙

七一四

別紙第一号

(墺洪国政府ヨリ佐藤大使宛通牒)

Vienne, le 25 août 1914.

tions diplomatiques avec le Japon. ernement I. et R. se voit obligé de rompre les relad'Allemagne, allié de l'Autriche-Hongrie, le Gouv-Impérial Japonais Monsieur I'Ambassadeur, En présence de l'attitude que le Gouvernement బ prise vis-à-vis de l'Empire

Gouvernement Impérial et de quitter le Japon. télégraphiquement de notifier ce qui précède L'Ambassadeur ŗ et R. <u>م</u> Tokio a été chargé au

l'Ambassade Impériale. au Japon de ce pli à Sa disposition le passeport pour le retour d'entretenir avec Votre Excellence et je mets sous aussi prendre fin les relations que j'ai eu l'honneur Dans ces circonstances, j'ai le regret de voir Votre Excellence et du personnel de

Veuillez agréer etc., etc.

(Signé) Berchtold

cellence de bien vouloir m'envoyer mes passeports. Veuillez J'ai par conséquent l'honneur de prier Votre Exagréer etc., etc.

(Signé) Bon de Müller.

別紙第四号 在本邦 八月二十七日

成候旅行券一通茲ニ差進候間御査収相成度候本大臣、茲ニ 以書翰致啓上候陳者本日附貴翰第六五一号ヲ以テ御請求相 墺国大使 加 藤 大 臣

重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

七一五

戦ヲ余儀ナクスルコトアルヘキ其ノ東洋ニ於ケル唯一ノ軍 日独交戦状態ニ入ルヤ同国政府ハ帝国政府ニ対シ日墺間交 テモ努メテ帝国トノ葛藤ヲ避クル意ヲ有シタルカ如ク現ニ ニ対シ可成平和関係ヲ持続スルコトヲ欲シ而シテ同国ニ於 雖モ帝国ノ立場ハ自ラ別個ノモノナルニ拠リ帝国ハ墺洪国 ク今回ノ戦乱カ其ノ基ヲ墺洪国対塞爾比亜ノ葛藤ニ発スト

一三雑件(二)七〇六

キ旨ヲ 電訓シ兹ニ 日墺間ノ外交関係ハ断絶ヲ 見ルニ 至レ 換洪国ハ已ニ英国ト交戦状態ニ在ルモノナルヲ以テ右ノ申 旅券ヲ交付シ 同時ニ 在墺国帝国大使ニモ 任国ヲ 引揚クヘ リ訓令シ来リタル趣ヲ申越シタルニ付帝国政府ハ同日直ニ 鑑、壞洪国政府へ同大使ニ日本ヲ退去スヘキ旨本国政府ヨ 日ヲ以テ同大使ハ本大臣ニ対シ帝国カ独逸ニ対スル行動ニ 英国ニ交渉シ同国ニ於テモ右ニ大体異議ナキ旨ヲ答ヘタル 出ニ対シテハ英国ト協議ノ上決定スルヲ要スルニ付政府 於テ之ニ同意シ 斡旋アリタキ旨ヲ 申入レ 来リタリ 然ルニ 艦「カイゼリン、 マサニ其手続ヲ取ラムトシタル時ニアタリ突然八月二十七 ヲ以テ墺洪国大使ニ対シ其次第ヲ本大臣ヨリ通告セムトシ ニ於テ其武装ヲ解除セシムルコトトシタキニ付帝国政府 エリザベット」号ヲ上海ニ赴カシメ同 ~ Ξ 地

ノ大要ナリノ大要ナリ

別紙第六号

**墺国皇帝ノ勅命ニ依リ在青島墺国軍艦「カイゼリン、エ八月二十五日伯林「ウォルフ」通信** 

1)

And Whereas there are subjects of each of the said belligerents residing within the territory or jurisdiction of the United States, and carrying on commerce, trade, or other business or pursuits therein;

And Whereas the laws and treaties of the United States, without interfering with the free expression of opinion and sympathy, or with the commercial manufacture or sale of arms or munitions of war, nevertheless impose upon all persons who may be within their territory and jurisdiction the duty of an impartial neutrality during the existence of the contest;

And Whereas it is the duty of a neutral government not to permit or suffer the making of its waters subservient to the purposes of war;

Now, Therefore, I, Woodrow Wilson, President of the United States of America, in order to preserve the neutrality of the United States and of its citizens and of persons within its territory and jurisdiction, and to enforce its laws and treaties, and in order that all persons, being warned of the general tenor of the laws and treaties of the United

1三 雑 件(二) 七〇六

七一六

在伯林墺国大使ヨリ独国政府ニ通告セリト云フト共ニ戦フヘキ旨ノ命令発セラレタルコトヲ八月二十四日ザベット」艦長及在東京墺洪国大使ニ対シ同艦ハ独逸軍艦

別紙第七号

シタル局外中立宣言)

(NEUTRALITY—JAPAN AND AUSTRIA— HUNGARY.)

By the President of the United States of America, A Proclamation.

Whereas a state of war unhappily exists between Japan and Austria-Hungary; And whereas the the United States is on terms of friendship and amity with the contending powers, and with the persons inhabiting their several dominions;

And Whereas there are citizens of the United States residing within the territories or dominions of each of the said belligerents and carrying on commerce, trade, or other business or pursuits therein;

States in this behalf, and of the law of nations, may thus be prevented from any violation of the same, do hereby declare and proclaim that by certain provisions of the act approved on the 4th day of March, A. D. 1909, commonly known as the "Penal Code of the United States" the following acts are forbidden to be done, under severe penalties, within the territory and jurisdiction of the United States, to-wit:—

1. Accepting and exercising a commission to serve either of the said belligerents by land or by sea against the other belligerent.

2. Enlisting or entering into the service of either of the said belligerents as a soldier, or as a marine, or seaman on board of any vessel of war, letter of marque, or privateer.

3. Hiring or retaining another person to enlist or enter himself in the service of either of the said belligerents as a soldier, or as a marine, or seaman on board of any vessel of war, letter of marque, or privateer.

4. Hiring another person to go beyond the limits or jurisdiction of the United States with intent to

be enlisted as aforesaid.

5. Hiring another person to go beyond the limits of the United States with intent to be entered into service as aforesaid.

6. Retaining another person to go beyond the limits of the United States with intent to be enlisted as aforesaid.

vessel the United States shall then be at peace with such such belligerent on board such vessel of war, if United States, to enlist or enter himself to serve same belligerent, who is hire or retain another subject or citizen of the within the United States, was fitted and equipped within the United States, shall, on board of any subject of either belligerent who, being transiently act is not to be construed to extend to a citizen or entered into service as aforesaid. limits belligerent.) ? such vessel of war, enlist or enter himself Retaining another person to go beyond the of war, which, at of the United States with intent to the time of its arrival transiently within the (But the said Q be

8. Fitting out and arming, or attempting to fit

or preparing the means for any military expedition or enterprise to be carried on from the territory or jurisdiction of the United States against the territories or dominions of either of the said belligerents.

the ships or privateers, for the purpose of preparing the armed vessels of a belligerent, whether public that any frequenting and use of the waters within the present hostilities, no ship of war or of August instant, and during the continuance of practices may be avoided, I further proclaim and the hazard and inconvenience of such apprehended of this government to observe; and to the end that be regarded as unfriendly and offensive, and in violato enter the jurisdiction of the United States, must vessels of a belligerent lying within or being about upon the ships of war or privateers or merchant for hostile operations, or as posts of observation teer of any belligerent shall be permitted to make declare that from and after the twenty-seventh day tion of that neutrality which it is the determination And I do hereby further declare and proclaim territorial jurisdiction of the United States by priva-

七一八

9. Issuing or delivering a commission within the territory or jurisdiction of the United States for any ship or vessel to the intent that she may be employed as aforesaid.

10. Increasing or augmenting, or procuring to be increased or augmented, or knowingly being concerned in increasing or augmenting, the force of any ship of war, cruiser, or other armed vessel, which at the time of her arrival within the United States was a ship of war, cruiser, or armed vessel in the service of either of the said belligerents, or belonging to the subjects of either, by adding to the number of guns of such vessels, or by changing those on board of her for guns of a larger calibre, or by the addition thereto of any equipment solely applicable to war.

11. Beginning or setting on foot or providing

same shall be a ship of war, a privateer, or a such period of twenty-four hours, without permittsistance of her crew, or for repairs; in any of which put to sea within twenty-four hours after her enport, harbor, roadstead, or waters of the United the time this notification takes effect, ship of war or privateer of a belligerent shall, after beyond the jurisdiction of the United States. If any from the departure of such last-mentioned vessel after the expiration of at least twenty-four hours chant ship) shall have previously departed, until a vessel of an opposing belligerent (whether the essary for her immediate use; and no such vessel to sea as soon as possible after the expiration of port (as the case may be) shall require her to put cases the authorities of the port or of the nearest ing provisions or things necessary for the subtrance into such port, harbor, roadstead, or waters, States, such vessel shall be required to depart and to to the jurisdiction of the United States from which use of any port, harbor, roadstead, or waters subject ing her to take in supplies beyond what may be necexcept in case of stress of weather or of her requirenter any mer-

一三 雑 件 (一) 七〇六

quit be ship of war, privateer, or merchant ship of an four hours between such departure and that of any sary to secure an interval of not less than twentylimited for the departure of such ship of war or have departed therefrom, in which case the time or merchant ship of an opposing belligerent, shall four hours a vessel, whether ship of war, privateer, have been completed, unless within such twentytwenty-four hours after her necessary repairs shall roadstead, or waters repair shall continue within such port, the waters of the United States for the purpose of which may have been permitted to remain within such port, harbor, roadstead, or waters of more than hours, by reason of the successive departures from waters of the United States more than twenty-four No ship of war or privateer of a belligerent shall opposing belligerent which may have previously privateer shall be extended so far as may be necesbe one vessel of an opposing belligerent. several vessels of opposing belligerents in the detained in any the same port, harbor, roadstead, or waters. port, harbor, roadstead, or for æ longer period But if there harbor, than

have been last supplied to her within the waters of the United States, unless such ship of war or privateer shall, since last thus supplied, have entered a port of the government to which she belongs.

And I do further declare and proclaim that the statutes and the treaties of the United States and the law of nations alike require that no person, within the territory and jurisdiction of the United States, shall take part, directly or indirectly, in the said wars, but shall remain at peace with all of the said belligerents, and shall maintain a strict and impartial neutrality.

And I do hereby enjoin all citizens of the United States, and all persons residing or being within the territory or jurisdiction of the United States, to observe the laws thereof, and to commit no act contrary to the provisions of the said statutes or treaties or in violation of the law of nations in that behalf.

And I do hereby warn all citizens of the United States, and all persons residing or being within its territory or jurisdiction that, while the free and full expression of sympathies in public and private

一三 雑 件(一) 七〇六

shall be again supplied to any such ship of war or privateer of a belligerent shall be permitted, while as to afford the opportunity of leaving alternately special permission, readstead, or waters of the United States, without privateer in the same or any other port, harbor, receive, if dependent upon steam alone, and no coal quantity of coal which she would be entitled to the nearest port of her own country; or in case to carry such vessel, if without any sail power, to and except so much coal only as may be sufficient may be requisite for the subsistence of her crew, supplies except provisions and such other things as cause the least detention consistent with the objects to the vessels of the opposing belligerents, and to of their departure therefrom shall be so arranged same port, harbor, roadstead, or waters, the order three months from the time when such coal may be propelled by steam power, then with half the the vessel is rigged to go under sail, and may also the jurisdiction of the United States, to take in any in any port, harbor, roadstead, or waters of this proclamation. until after the expiration of No ship of war within or.

capture and the penalties denounced by the law of jurisdiction; nations in that behalf. the said wars without incurring the risk of hostile may be lawfully established and maintained during belligerent, or attempt to break any blockade which nor can they transport soldiers and officers of a high seas for the use or service of a belligerent, aforesaid state of war manufacture and sell within military war", yet they cannot carry such articles upon the other articles ordinarily known as "contraband of the United States arms and munitions of war, and lawfully and without restriction by reason of the lawfully be originated or organized within is not restricted by the laws of the United States, forces in aid of and that, while all persons may a belligerent cannot its

And I do hereby give notice that all citizens of the United States and others who may claim the protection of this government, who may misconduct themselves in the premises, will do so at their peril, and that they can in no wise obtain any protection from the government of the United States against the consequences of their misconduct.

七1111	一三 雑 件(一)七〇六
│ 全文ヲ得ルコト不可能ナレハ墺国カ帝国ト戦争状態ニ入リ	
ノナルヤ若シ然リトセハ可成右墺国ノ通知ノ内容全文又右	qui
日塡開戦ヲ米国ニ通知シタル結果之ヲ公布スルニ至リシモ	D'ordre de mon Gouvernement, j'ai l'honneur de
米国中立宣言御送附相成候処右米国ノ中立宣言ハ墺国ヨリ	a la
客年九月一日附貴信公第一七八号ヲ以テ日墺開戦ニ関スル	ur le Mini
政送第八二号	téle
日墺開戦ニ関スル米国ノ中立宣言ニ付取調ノ件	TO ON TIONS
送第八二号	穷暑韓」 Takin le 30 Anit 1914
11-	「「「「「「」」」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「
コトヲ得ス	内務大臣伯爵 大 隈 重 信
立国二	
以テ之ヲ為スコトヲ得但シ中立国カ実際	第十号及第十一号ノ趣旨ニ準拠スヘシ
昨サレハ该国ニ対ンはノ効果ヲ主セサル 単色才介ノルシンシェ 2目 シュインシ	テハ同国臣民ノ処遇竝保護ニ関シテハ本年八月内務省訓令
寝二条   災争犬態、軽帯ナク中之国ニ通与ストク通与受頂   (閉単二関ンパ浙芬系彩)	今回帝国ト墺地利洪牙利帝国トノ間国交断絶シタルニ付キ
く	4 17 17
(Signé) L. de Warzée d'Hermalle.	内務大臣伯爵 大 隈 重 信
Je saisis cette occasion etc., etc.	大臣三年八月二十三日
- ナカラシムル様注意スヘシ	ス新ニ渡来スル者亦敢テ拒マス彼等ニ対シテハ平穩且適法
シノ、気気に軽、水石、電液、電谷、甘、ノ、ガニン	
	トヲ得ヘク其ノ
ヲ処遇シ併テ帝国臣民ヲシテ亦能ク此ノ趣旨ヲ体シ彼等ニ	在ル者ハ安ンシテ
ケシメムコトヲ欲ス局ニ当ル者宜シク意ヲ茲ニ致シテ彼等	トスルトコロニシテ其ノ臣民ニ対シテハ秋毫モ敵意
和孟ト牴触セサル限リ帝国内ニ於テ可成丈完全ノ保護ヲ享	今回独逸帝国ニ対シ戦ヲ宣スルニ至リタルハ素ヨリ深ク遺
国臣民ニ対シ	
	内務省訓令第十一号
処子スレノ外宣ニとヲ国外ニ良長セノムヘンとヲ要スレニ卒しサルイ重ラズスオフラノ没イノ定ムルトニエニ依リラ	別紙第八号
- 、行動, あい音・・・ 、ます,言い、・・・・・・マー、安寧を厚い落ハラ女キキャ帝国及同盟国、未孟	Secretary of State.
四女司豆豆/ 川仝、	W. J. Bryan
其	By the President:
言ヲ俟タス若シ夫レ彼等ニシテ其ノ本国ノ為ニ軍事上ノ利	WOODROW WILSON
ヲ禁シ或ハ移転旅行ヲ禁止若ハ制限スルコトアルハ固ヨリ	iry-nineth.
要アルニ当リテハ或ハ退去ヲ命シ或ハ渡来ヲ拒ミ或ハ退去	the independence of the United States of America the one hundred
ル保障ト雖モ之カ為ニ其ノ幾分ヲ縮少スルヲ妨ケス其ノ必	e hundred and fourteen
等ノ拘束ヲ受クルコトナク其ノ身体生命名誉及財産ニ対ス	the year of our Lord one thousand
的ニ出ツル陸海軍官憲ノ処分ヲ為スニ就テハ帝国政府ハ何	twenty-seventh day of August in
シムヘシ然レトモ取締上必要ナル行政処分又ハ軍事上ノ目	amxed. Done at the city of Washington this
名誉及財産ヲ保護シ且帝国裁判所ノ救済ヲ受クルコトヲ得	and caused the seal of the United States to be $\tilde{z}$
│ ノ業務ニ 従事スル限リ 法令ノ定ムル 所ニ従ヒテ 身体生命	In Witness Whereof I have hereunto set my hand
· + 1111	一三雜件(一)七〇六

	独国駆逐艇ヲ捕獲セル旨通報ノ件
Ę	セロセ 十月二十日 加藤外務大臣宛(電報)
y	二、独国駆逐艇「エス」九十号捕獲一件
サル様監視ス	
ル旨誓約書ヲ	
艦及乗組員い	Japanese Ambassador.
関シ何レ中央	G
トノ電報日昭	His Excellency
ヲ捨テ上陸シ	(Signed) Robert Lansing.
一十月二十日独	Very sincerely yours,
第五九号	I am, my dear Mr. Ambassador,
報告ノ	thdrawn.
独逸駆	to have the propagation of America 27th 1914
七 〇 八 十	by each as tempo
	If, however, the diplomatic relations of the two
	he guidance of American citizens.
	Hungary and in issuing a proclamation of neutrality
テ我軍艦ノタ	state of war existed between Japan and Austria-
独逸駆逐艇「	information above set forth, in assuming that a
第五六号	Government was justified, upon the receipt of the
соптых во	The second se
in the second se	с <i>с</i> ,
Germany, w	December 30, 1915.
In view o	ing
been severe	
relations be	(別紙)
	中边 6 敬 多
Tckyo teleg	日色を、ない
On Augu	ル回答書ヲ差滅侯ニ付委畑ハ右ニテ卸承加泪戎度比没回答
Japan were	ヲ得度旨依頫致置侯処早速別紙写ノ通リ当時ノ事情ヲ記セ
the diploma	「ランシング」国務長官ニ 会見ノ際右ニ関シ 何分ノ義報知
with Germa	政送第八二号ヲ以テ御申越相成敬承仍テ本使ハ本月三十日
ELIZABET	日墺開戦ニ関スル米国ノ中立宣言ニ付キ取調方本月三日附
ordered the	公第三九二号
informed by	報ノ件
25, 1914, th	日墺開戦ニ関スル米国ノ中立宣言ニ付キ取調回
Depar	宛公第三九二号
and Austria	大正四年十二月三十一日在米国珍田大使ヨリ石井外務大臣
that "a stat	(附 記三)
20	御回報相煩度此段申進候也
	り 1 5 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
in which v	タリト認ムル朝日依ニ其通加ノ日付等洋畑卸仅閒ノ上至急

七二四

Ξ

雑

件

3

七〇六

an navy". 'H at Tsingtau to "take up fight together e commander of the Austrian cruiser æ he Austro-Hungarian Ambassador telement examined and find that on August e of war unhappily exists between Japan of August 27, 1914, in which it is recited ou made inquiry as to the basis upon tic relations between his country and *i* his Government that the Emperor had a-Hungary", I have had the records of President issued his broken off. Department that he had just been The Ambassador added that Proclamation of

On August 27th, the American Ambassador at Tokyo telegraphed the Department that the Austro-Hungarian Ambassador had informed him that relations between his Government and Japan had been severed and he had received his passports.

In view of the fact that Austria was an ally of Germany, with which country Japan was at war, and of the further fact that Austria was the first country to open hostilities, it seems to me the

テ我軍艦ノタメニ捕獲セラレタリ独逸駆逐艇「ニス」九十ハ青島ヲ距ル西南五十哩石血所ニ

独逸駆逐艦ニ対スル中国側ノ処置ニ関スル情報
〇八 十月二十二日 在芝罘松本領事代理宛(電報)

件

ル様監視スヘキ 旨回訓 シタリト 諜報者ヨリ 内報ニ接セン何レ中央政府ノ命令ヲ待テ更ニ何分ノ義申進スル迄軍ノ電報日照県知事ヨリ当地道尹ニ達シタルガ道尹ハ右ニノ電報日照県知事ヨリ当地道尹ニ達シタルガ道尹ハ右ニ 月二十日独逸駆逐艦石血所ニ到着シ艦長以下六拾壺名船

七二五

一三雑

倂

セロセ

七 0 八